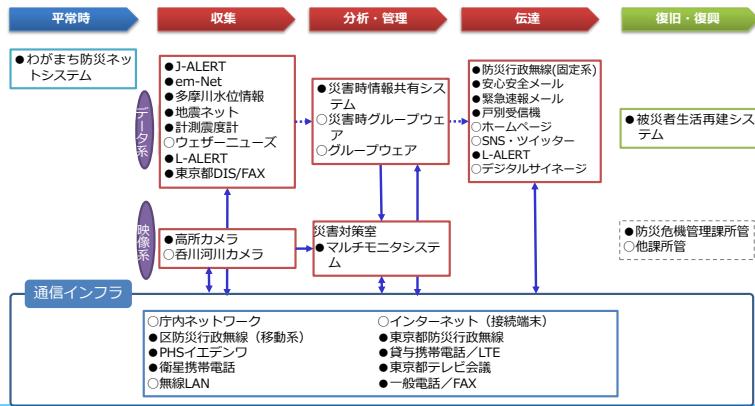


基本計画書の目的

- 大規模災害時、あらゆる情報を適時適切に収集し、必要な情報を整理集約するとともに、迅速かつ正確な意思決定や情報発信を支援するなど、強靱かつ機能的で一元的な情報連絡基盤の整備
- 区の現状の災害時情報連絡体制・運用方法の整理と再検討
- 音声伝達手段の再構築、システム系情報伝達手段の見直し
- 技術の最新動向や時代の趨勢を見据えての新たな情報収集や相互連絡手段の構築

本区災害時情報通信システムの現状

- 防災関連業務の流れに沿って、一連のシステムが整備されている。
- 収集システムとして多くの手段が導入されているが、これらの情報を一元的に表示・管理するシステムについては未導入。



本区の防災時対応及びシステムの主な問題点

令和元年東日本台風にて明らかになった主な問題点

- 【情報収集】**
 - 各種機関からの報告が音声中心
 - 網羅的かつ迅速な情報収集が不十分
- 【情報共有】**
 - 対策本部に情報を報告する仕組みが中心
 - 現場と必要な情報を同時に共有する仕組みが不十分
- 【情報集約・意思決定】**
 - 一元的な情報集約・表示ができない
 - 収集情報に基づく判断が困難
- 【情報発信】**
 - ホームページのアクセス集中によるダウン
 - 継続性確保対策や伝達手段が不十分

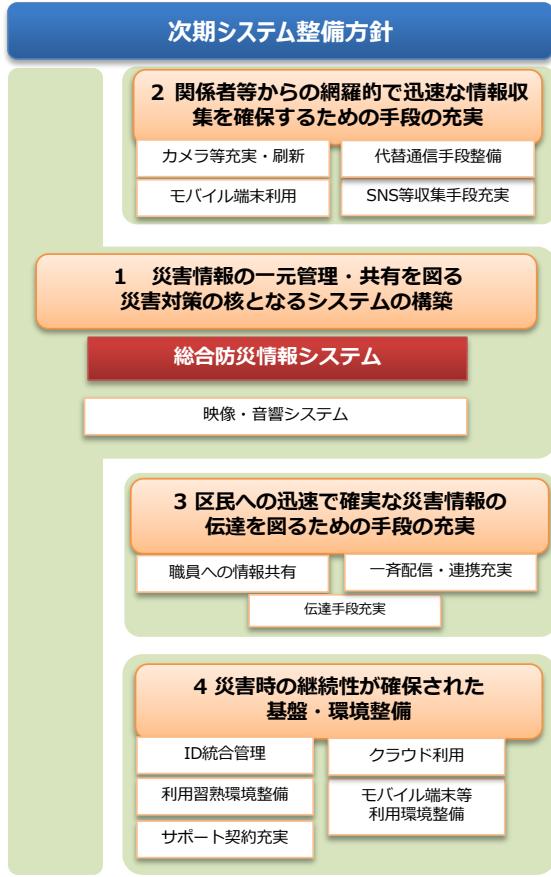
課題と対応方針

- 次期システムでは、特に令和元年東日本台風対応の際に課題となった、災害時に必要な情報を網羅的かつ迅速に収集・集約し、職員等の関係者で共有を図りながら災害対策本部での意思決定を円滑に進め、避難指示等を確実に区民に伝達する仕組みを確立する。
- そのため「災害情報の一元管理・共有を図る災害対策の核となるシステムとして「総合防災情報システム」を整備する。
- 併せて、以下の対応を図る。
 - 「関係者等からの網羅的で迅速な情報収集を確保するための手段の充実」、
 - 「区民への迅速で確実な災害情報の伝達を図るための手段の充実」
 - 「災害時の継続性が確保された基盤整備」

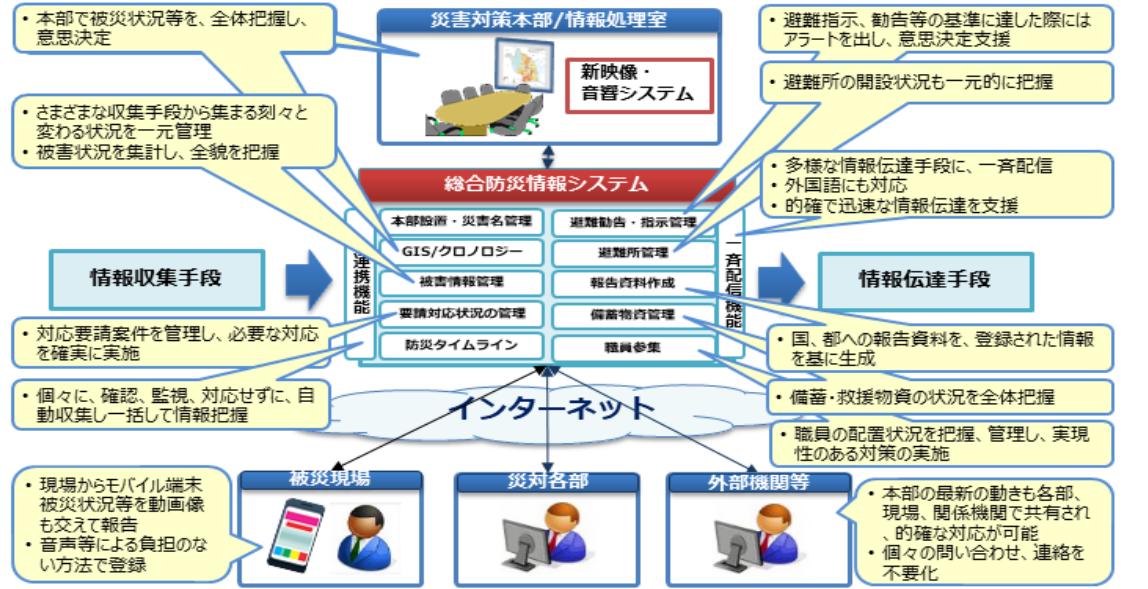
令和元年東日本台風では記録的な豪雨に見舞われ、本区においても大規模な浸水害などが発生し、広域にわたり甚大な被害を受けた。被災に際して、本区として台風としては初めて災害対策本部を設置し、準備及び対応を実施したものの、水害時緊急避難場所の開設・情報発信方法等、更なる改善が必要であり、次の台風の発生時期までに今回の課題を踏まえた早急な対策が必要となっている。特に、令和元年東日本台風の対応の際に課題となった、「情報収集・共有・集約・意思決定」を迅速かつ一元的に進めるための「総合防災情報システム」の整備、「区民への確実な情報伝達手段」の整備を優先的に進める。

次期災害時情報通信システムの方針

検討項目	システムの必要機能・対策
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 現場からの情報登録機能 動画等の情報登録機能 カメラシステムの刷新 センサーやカメラ等の充実 代替通信手段の導入 SNS等による情報収集機能
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 関係者の情報共有機能 DIS等とのデータ連携機能
情報集約・意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 情報の一元的管理・集計機能 地図・一覧・集計情報等の表示機能 事業情報の管理機能 行動基準への到達状況を識別する機能 備蓄物資管理機能 職員参集管理機能
情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの継続性確保 伝達手段の多様化 一斉配信や情報連携の仕組みの充実 自動翻訳等活用による情報提供の多言語化 職員の災害対応情報の共有機能 ホームページ等による周知情報の充実
システム環境	<ul style="list-style-type: none"> システムのIDの統合化 ID管理に関するサポートの充実 利用端末の明確化と利用環境整備 インターネットの利用 平常時の活用機能の導入 研修、訓練等の充実
関連設備・資源	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス利用 発災時の対応契約



中核となる総合防災情報システムのイメージ



項目	令和元(2019)年度				令和2(2020)年度				令和3(2021)年度				令和4(2022)年度				令和5(2023)年度~			
	1Q	2Q	3Q	4Q																
外部動向																				
総合防災情報システム																				
映像・音響システム																				
PHSイエデンフ																				
デジタル移動系無線																				